



お元気ですか！

志村 たかよし です

第921号 2019年1月13日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

「土建区政」から「福祉区政」へ 2019年を転換の年にしましょう！

お寒い 中央区の福祉行政

23区で福祉は最下位

中央区の予算における福祉や医療、子育て支援などに使う民生費（福祉費）の割合は、23区で最下位から2番目が何年も続いています。

（912号参照）

補助金削減で国保料アップ

中央区が国民健康保険会計への補助を2億円削ったため、保険料が1人あたり四千円引き上げられました。



国保料滞納世帯は2割に

中央区では、高すぎる国保料が払えず滞納している世帯が2割（17年度は5937世帯）もあり、その多くは低所得者です。



滞納世帯への差し押さえ強化

中央区の国保料滞納世帯への差し押さえは、14年度の7件から17年度は259件と37倍に激増しています。

滞納世帯の22世帯に1件の割合で差し押さえが行われていることになりました。

夏季・冬季見舞金を廃止

区は生活保護世帯への夏季見舞金を打ち切ってしまいました。夏の猛暑はこれからますます深刻になるというのに…。

一足先に冬の見舞金も打ち切っています。

冷たく、お寒い中央区政です。

保育園に入れなかった 赤ちゃんの悲劇

昨年7月、生後11か月のNちゃんは、認可保育園に入れなかったために区が紹介した家庭的保育事業者（保育ママ）に預けられたのですが、お昼寝中に亡くなりました。



中央区の保育ママのもとでの死亡事故は11年、16年に続いて3度目で全国的にも異常なことです。（902号・918号参照）

志村たかよしの取り組み

区民の健康と生活を支える「福祉区政」への転換をめざし、具体的な提案を行い実現もさせてきています。昨年は、811項目の「予算要望書」を区長に提出しました。

保育園の増設は、党が求めてきた「認可」中心に進められています。痛ましい認可外での死亡事故は、認可保育所が増えて待機児が解消されれば防げます。

「土建区政」

氷山の一角

23区で土建費の割合は1位

中央区の予算に占める「まちづくり関係（環境土木、都市整備）」の割合は、23区で連続1位となっています。

16年度は、中央区の歳出額の3割を土建費が占めていました。

（912号参照）

土建費の歳出総額に占める構成比ランキング

順位	2017年度	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度
1位	中央	中央	中央	中央	中央
2位	品川	品川	千代田	品川	品川
3位	千代田	千代田	品川	中野	千代田
4位	文京	江戸川	大田	世田谷	大田
5位	世田谷	世田谷	江戸川	大田	豊島
6位	葛飾	中野	世田谷	練馬	世田谷
7位	豊島	北	中野	葛飾	江戸川
8位	中野	大田	足立	足立	練馬
9位	杉並	葛飾	北	千代田	葛飾
10位	江戸川	豊島	葛飾	江戸川	中野

区土地を提供し再開発推進

月島の路地と長屋が残る地区で、中央区が公園と区施設を提供して地権者の一員になり、59階のタワーマンションを建設します。

都市計画案への反対意見が、214名から寄せられるなど反対の声が多数あがっています。

（903号、918号参照）

民生費(福祉)の歳出総額に占める構成比ランキング

	2017年度	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度
15位	目黒	渋谷	港	文京	世田谷
16位	江戸川	中野	世田谷	世田谷	渋谷
17位	中野	目黒	品川	目黒	中野
18位	世田谷	豊島	中野	品川	品川
19位	文京	文京	目黒	渋谷	目黒
20位	品川	品川	文京	千代田	文京
21位	千代田	港	豊島	豊島	港
22位	港	中央	千代田	港	中央
最下位	中央	千代田	中央	中央	千代田

小学校犠牲に超高層ビル建設

東京駅前に、250mの超高層オフィスビルを建設する市街地再開発計画は、区が城東小学校の敷地と区道を提供することで可能になりました。

城東小学校は解体され、超高層オフィス・ホテルの建物に組み込まれます。

（754号、

869号参照）



解体前の城東小学校

目白押し、大規模開発

区内の大規模開発は目白押しで、これからも約30か所で計画されています。

国や都が掲げる「国際競争に勝つための都市づくり」に従って、超高層ビル群を建設することは、地方自治体として妥当な仕事なのでしょうか。

中央区政がやるべき仕事は、区民福祉の向上のために努力することではないでしょうか。

（869号参照）

志村たかよしの取り組み

私が所属する「環境建設委員会」と副委員長を務める「築地等地域活性化対策特別委員会」で、中央区のまちづくりについて繰り返しとりあげ、「中央区都市計画審議会」では、具体的な個々の開発事業ごとの問題点を指摘し、対案を示してきました。

また、市街地再開発事業の詳細な資料を分析し、大手デベロッパーがばく大な利益をあげていることを告発しています。

最近、都市計画審議会委員の方たちからも「世界のどこにでもある高層マンションを建てるというのは、長期的、広域的に見た時の都市戦略として適切なのか疑問がある」「そろそろ違うやり方があるのではないか」などの貴重な意見が出はじめています。